

第2学年3組 算数科 学習指導案

令和3年11月18日(木) 第3時限 2の3教室

1 単元名 「かけ算(2)」(13時間完了)

2 単元の目標

- (1) かけ算の構成の仕方から、かけ算の性質について理解し、九九を覚え、かけ算が用いられる場面で、式に表したり、式を読み取ったりすることができる。(知識及び技能)
- (2) 数量の関係に着目し、計算の意味や方法を考え、成り立つ性質を見出すことができる。また、計算を工夫したり確かめたりし、日常生活に生かすことができる。(思考力、判断力、表現力等)

3 本単元の学習について

本学級の児童は、「かけ算(1)」の学習を通して、かけ算の意味について理解し、それが用いられる場面を式にしたり、式を読み取ったりしてきた。その上で、児童は、 $5 \cdot 2 \cdot 3 \cdot 4$ の段の九九について知り、計算カードを用いて暗唱練習をし、その段の計算が確実にできるようになった。ここでは、今まで学習してきた考えをもとに、アレイ図を使うなどして、6~9の段や1の段の九九の構成を考え、計算の成り立つ性質を見出すことができるようにしたい。また、かけ算を生かし、問題を解決したりすることができるようになるとともに、進んで日常生活に活用できるようになってほしいと考える。

本単元の学習の流れは、次のようになる。

【第1・2時】アレイ図を使ってかけ算が図になることを知る。それを使い、6の段の九九の構成を考え、完成する。6の段の九九を覚え、日常生活でかけ算を活用する適用題を解く。

【第3・4時】アレイ図で7の段の九九の構成を考え、完成する。その九九を覚え、適用題を解く。

【第5~7時】8・9の段の九九の構成を考え、完成する。その九九を覚え、適用題を解く。

【第8時】基準量が1のときのかげ算の意味を生活の場面に置き換え、1の段の九九の構成を考え、1の段の九九を完成し、覚える。

【第9時(本時)】かけ算で表される場面を見て、かけ算の問題づくりをする。それをお互いに発表し合い、解き合い、話し合う。

【第10時】練習問題を通して、学習内容が理解できているか確認する。

【第11時】乗法と加法、乗法と減法が組み合わされた問題を考え、その解き方を話し合う。

【第12時】同じ数のまとまりに着目して、L字型に並んだものの数を、かけ算を使って求める方法について考え、話し合う。

【第13時】練習問題を通して、学習内容の理解を確認する。

4 本時の指導(9/13時)

(1) 本時の目標

かけ算で表される場面を正しく判断し、かけ算の問題を考えたり、かけ算になるわけを説明したりすることができる。(思考力、判断力、表現力等)

(2) 本時の展開

(学習課題) かけ算の問題をつくって友達と発表し、解き合おう

0(分)	7	17	27	40	45
導入	チーム学習①(10分)	全体確認	チーム学習②(13分)	振り返り	
挿し絵を提示し、そこにある数量と問題の作り方を確認し、問題づくりをする見通しをもつ。	挿し絵から、どの果物や野菜の数を使って問題をつくるかチームで決める。問題と解くために使うかけ算をみんなと相談しながら1つ作る。	チームで考えた問題を、全体で発表する。また、どのように考えてつくったのか、かけ算の式になるわけを確認する。	チーム学習①で、問題づくりをしたことをもとに、スクールタクトを用いて、個人で問題をつくる。チーム内で発表し合い、お互いに解いて確かめる。	学習課題が達成できたか自分の姿を学びの天気で判断し、思いを記述する。	

(3) チーム学習の展開

【チーム学習①】

(発問)「みんなで話し合って、どんなかけ算の問題ができそうですか。」

チーム学習の状況を把握するために

- ・ホワイトボードに、チームで1つの問題文、果物や野菜の絵、式、答えを書いてまとめるようにする。

想定されるチームの様子と教師の出

かけ算で表される場面を見つけられず、問題をつくることのできない。

- ・導入で教師が示したかけ算の問題の場面と似たところはないかなと問う。

1人の子だけで問題づくりを進めてしまっている。

- ・「どうしてこの問題になったの？」など問い、問題づくりの根拠を示す図はどれか、式、答えは何かを問い、全員が理解できるように説明するように声かけをする。

話し合いに参加できていない児童がいる。

- ・参加できていない児童にどこまで理解できているか確認する。
- ・チーム内の全員が説明することができるように、チームの中でお互いに助け合うように促す。

かけ算で表される場面を正しく判断し、理由を踏まえてかけ算の問題を考え、絵、式、答えも正しく書いている。

- ・かけ算の問題をつくるだけでなく、絵、式、答えとも結びつけていることを確かめ、称賛する。
- ・他のチームで問題づくりで困っているところがあれば、個を派遣する。

絵



もんだい

なしが2こずつはいったかごが、3つあります。なしはぜんぶでなんこですか。

しき
2×3

こたえ 6こ

【チーム学習②】

(発問)「次は自分1人でできるかな。どんな問題ができるかな。」

チーム学習の状況を把握するために

- ・スクールタクトを用いて、各自で問題づくりをする。タブレットの画面に書いた問題をチームで見せ合い、発表を進めるようにする。

想定されるチームの様子と教師の出

かけ算以外の問題をつくっている。

- ・「今日のためは何だったかな」と声をかけ、問題づくりの視点がずれていることに気づかせる。

つくった問題を発表するだけで、満足し、話し合いが終わっている。

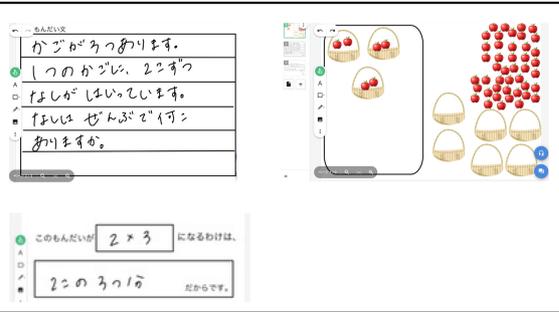
- ・「問題がどうしてそうなるの？」と声をかけ、なぜかけ算の式で表すことができるのか考えるよう促す。

かけ算になるわけを、図を使って、基準量のいくつ分かうまく説明できていない子がいるが、助け合おうとしていない。

- ・チームの他の子に、「説明するのに足りないものは何かな」と問い、助け合うよう促す。

かけ算で表される場面を見つけ、かけ算の問題を考え、全員がつくった問題を発表し合い、解き合うことができている。

- ・かけ算の問題をつくるだけでなく、かけ算になるわけを1人で表すことができたことを確認し、称賛する。
- ・新たに問題づくりをするように促す。



(4) 評価

かけ算で表される場面を絵から正しく選び、それを用いてかけ算の問題を考え、つくった問題をチームで発表し合ったり、かけ算になるわけを説明し合ったりすることができたか。

(チーム学習①②の児童の発言、スクールタクトの記録、振り返りの記述から)